

公益社団法人 日本トライアスロン連合

2018年度（平成30年度）第1回理事会 議事録

[1] 開催：2018年5月30日（水）13：00～18：12

[2] 場所：JTU事務局（東京都渋谷区）会議室

[3] 出席者（理事22名、監事2名）：

岩城光英、國分孝雄、森崎俊紘、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫、岸田吉史、飯島健二郎、村瀬訓生、山倉紀子、和田知子、関根明子、山根英紀、増田芳一、園川峰紀、山倉和彦、小林洋、吉田隆雄、宗定敏文、川崎寛典、加納修二、森兵次（以上、理事）。秋山昭八、荻原政吉、（以上、監事）。

・専門委員出席（5名）

中山俊行（オリンピック対策チームリーダー）、中島靖弘（マルチスポーツ対策チームリーダー）山本良介（アスリート委員長）、小金澤光司（技術副委員長）、松山文人（パラリンピック対策チームマネージャー）

・事務局出席（3名）佐藤政人、坂田洋治、児玉健太。

[4] 議事の経過

事務局が出席理事を一人ずつ確認し、JTU 定款第6章（理事会）第34条（決議）により、定足数を満たしていることを報告した。定款33条（議長）により、岩城会長が議長として開催宣言を兼ねた挨拶を行い、定款第23条（理事の職務及び権限）による会長及び業務執行理事の職務執行状況が報告された。その後、議事録確認者に大塚専務理事と園川理事、議事録作成者に事務局を指名して直ちに議案の審議に入った。

第0号議案）前回議事録

2017年度（平成29年度）第5回理事会の議事録案について、メール回覧済であることを報告した後に議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

・承認事項）2017年度第5回理事会（2018年3月25日 JTU 事務局開催）の議事録案

第1号議案）2017 年度事業・決算報告書案

2017 年度事業・決算報告について大塚専務理事から説明があり、秋山監事から監査報告があった。作成体裁等の訂正指摘があり、これに係る質疑応答で修正箇所が指摘された後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

・承認事項）2017 年度事業・決算報告書

・修正箇所) 事業報告書

1) トライアスロンの普及及び指導 (7) JTU メンバースカードの発行

*JTU 登録サービスからの発行が公式化されてきているため、「簡易発行」に関する記述を削除

2) トライアスロンに関する指導者及び審判員の養成及び資格認定*正式な人数・実績を追加*第2種・第3種審判員認定「試験」→「講習会」に修正。

3) その他本会の目的を達成するための必要な事業*他国競技団体との提携に関する継続交渉中の(予定)に関する記述を「推進中」に修正。

第2号議案) 2018 年度補正収支予算案

2018 年度第一次補正収支予算案について大塚専務理事から説明があり、これに係る質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

・承認事項) 2018 年度第一次補正収支予算案

第3号議案) オリンピック対策チーム関係

1) 第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン)代表候補選手
標題について、中山リーダーから説明があり、質疑応答の後に議長がその賛否を求めたところ、一部条件付きで満場異議なく承認可決した。

・承認事項1) 第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン)代表候補選手

女子(3名):高橋侑子(富士通/東京)、佐藤優香(トーションパートナーズ、NTT 東日本・NTT 西日本、チームケンズ/山梨)、瀬賀楓佳(トーションパートナーズ、チームケンズ/山梨)(男子(3名):古谷純平(三井住友海上/東京)、細田雄一(博慈会/東京)、小田倉真(三井住友海上/東京)*順不同

・補足事項)選考過程や経緯について、選手、所属先等からの質問等については、中山リーダーにて個別に面談により回答及び説明を行う。

2) 選考基準関連

標題について、中山リーダーから説明があり、質疑応答の後に議長がその賛否を求めたところ、基準内容の再検証事項があり、強化関連理事及び中山リーダーで再考の上、再提出を行い、満場異議なく承認可決した。

・承認事項1) ITU 世界 U23 トライアスロン選手権(2018/ゴールドコースト)選考基準

・説明骨子) 1) 選考基準は簡潔、明瞭な記述が必要であること。2) 基準の対象者がいない場合など、様々なケースに対応できる詳細な内容が求められること。以上から、選考基準を ITU 世界ランキングの一本化し評価と選考を行うこと、対象選手が

不在の場合はロールダウンを認める方針の記載を追記する。

・承認事項2) ITU 世界ジュニア トライアスロン選手権 (2018/ゴールドコースト)
選考基準

- ・承認事項3) 2018年 ITU トライアスロン公式大会 JTU 出場推薦基準 (追加)
- ・説明骨子) ITU 世界ミックスリレー選手権、ITU 世界ミックスリレーシリーズ及び ITU 世界 U23・ジュニアミックスリレー選手権の選考基準の追記。
- ・主要意見) 選考方針の対象選手に関する記述をより、具体的な内容に訂正を行う。
*原案:「オリンピックのメダル獲得が高い選手を選出」

3) 平成30年度 JSC スポーツ振興基金・アスリート助成

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後に議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) スポーツ振興基金助成事業 (アスリート助成) 推薦候補選手
*瀬賀楓佳 (トーションパートナーズ・チームケンズ/山梨) *新規
*前田凌輔 (ベルリオ/愛知) *新規

4) JOC ナショナルコーチ・専任コーチ、JSC 次世代ターゲットアスリートの育成支援事業スタッフ一覧

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後に議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項) JOC ナショナルコーチ・専任コーチ、JSC 次世代ターゲットアスリートの育成支援事業スタッフ一覧

*JOC ナショナルコーチ/JOC コーチ設置事業・ナショナルコーチ: 飯島健二郎 (常務理事)・アシスタントナショナルコーチ: 尾内香 (コーチ)・アシスタントナショナルコーチ: 山倉紀子 (理事/総務)

*JOC 専任コーチ/JOC コーチ設置事業・専任コーチ (トップアスリート担当):

中山俊行 (リーダー)・専任コーチ (ジュニア担当): 蓮沼哲哉 (コーチ)

・専任コーチ (ジュニア担当): 瀬尾幸也 (コーチ)・特任コーチ: 山倉和彦 (理事/コーチ)・専任コーチ (トップアスリート担当): パトリック・ケリー (カナダ/ヘッドコーチ) *海外招へいコーチ・専任コーチ (トップアスリート担当):

ジェイソン・リーブレクト (カナダ/マネージャー) *海外招へいコーチ

*JSC 次世代ターゲットスポーツ育成・強化事業

- ・海外コンサルタント: ダレン・スミス (オーストラリア)
- ・海外契約コーチ: パウロ・ソーザ (アメリカ)・情報戦略: 森谷直樹・アドミニス

トレーター：土屋佳司

*JTU 契約コーチ・スタッフ：山根英紀（理事／ITU担当）

・村上晃史（サブリーダー）・川合貴紀（コーチ）

第4号議案) パラリンピック対策チーム関係

標題について、松山マネージャーから説明があり、質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項1) ASTC アジアパラトライアスロン選手権（2018/マウントマヨン）選手選考基準

・承認事項2) ITU 世界パラトライアスロン選手権（2018/ゴールドコースト）選手選考基準

・承認事項3) 2018JTU パラトライアスロン選手派遣ガイドライン及びユニフォーム規程

・報告事項1) 2018 第2期 JTU パラトライアスロン強化指定選手

・報告事項2) 2018ASTC パラトライアスロン・ディベロップメント・キャンプ実施報告

第5号議案) マルチスポーツ対策チーム関係

標題について、中島リーダーから説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、文書の体裁を見直すことを前提に、満場異議なく承認可決した。

・承認事項1) 2019 年世界/アジアロングディスタンストライアスロン選手権 エリート日本代表選手選考基準

・承認事項2) 2019 アイアンマン（IM）プロ登録証明書の発行基準

・説明骨子1) プロライセンス発行は、世界レベルの選手育成を目的に、高いレベルの条件を課す方針が確認された。強化策の一環として、認定記録会参加を義務化し、必要最低限の泳力と走力を測定するタイムを設定する。

第6号議案)

1) JTU 技術代表・審判長の承認

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項1) 第24回日本トライアスロン選手権（2018/東京）10月14日(日)開催

・技術代表：渡邊英夫（神奈川県：JTU 第1種公認審判員・ITU レベル2)

・審判長（男子）：今 雅利（埼玉県：JTU 第1種公認審判員・ITU レベル1)

・審判長（女子）：杉浦真由美（神奈川県：JTU 第1種公認審判員・ITU レベル1)

*補足事項) 大会での技術審判に係る運営支援のために、技術統括・審判統括を設置する案が報告され、今後、業務定義を明確化することになった。

2) 第1種公認審判資格者・新規・更新申請(追加)

標題について、事務方から申請確認上での追加があったことの説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) 第1種審判資格申請(新規44名→47名、更新36名→37名)
- ・新規追加(3名): 平木琢也(京都府)、田中秀男(熊本県)、清田健司(熊本県)
- ・更新追加(1名): 播正和房(熊本県)

JTU サイト掲載) <http://www.jtu.or.jp/news/2018/180402-3.html>

第7号議案) 組織図・専門委員会

組織図と専門委員の委員追加候補者について、事務方から説明の後、各専門委員長から補足説明があり、質疑応答でJTUサイトへの早期掲載が促された後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) 2018年度組織図

*強化チームのスタッフ契約等に伴い、役割を明確にして掲載を実施。

JTU サイト掲載) <http://www.jtu.or.jp/organisation/index.html>

- ・承認事項2) 専門委員会追加

*JTU 総務・財務委員会(5名): 宮本光広(東京)、江森辰夫(東京)、足立達郎(東京)、岩佐彰彦(東京)、土屋佳司(神奈川)

*JTU 国体委員会(1名): 望月浩(東京)

*JTU 技術委員会(1名): 伊藤功頭(神奈川)

JTU サイト掲載) http://www.jtu.or.jp/news/2018/pdf/20180530_CommitteeMembers.pdf

第8号議案) 2020年ASTCアジアトライアスロン選手権 開催

標題について、大塚専務理事から補足説明があり、質疑応答の後に議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) 2020年ASTCアジアトライアスロン選手権の日本開催検討
- ・説明骨子: アジアトライアスロン同盟(ASTC)から2020年の開催オファーがあり、次のスケジュールでの検討を行う。
- ・6月開催地公募、6月19日臨時理事会で開催地承認、9月ASTC理事会(Gold Coast)で協議

第9号議案) 2018年度JTUオフィシャルスポンサー・オフィシャルパートナー(賛助会員)

標題について、事務方から定款第5条(法人の構成員)第1項第3号に基づく説明

があり、現在の運用に対応する定款の変更案などが提起され、質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項 1) 2018 年度 JTU オフィシャルスポンサー・パートナー

[5] 報告と提案 (資料 20 類)

1) WTS モントリオール大会での日本選手失格に対する対応進捗報告

WTS モントリオール大会での日本女子選手失格判定に対する判定不服申し立てについて、和田理事から 2018 年 4 月 23 日に国際スポーツ仲裁裁判所 (スイス・ローザンヌ) での証人審問の実施報告があり。判定は 5 月末以降に判定通知が届く予定であることが報告された。(6 月末に延期となったことが報告された。)

2) 大阪城トライアスロン大会の安全検証委員会

安全検証委員会による現場検証が行われ大会公式サイト公表を受け、第 2 回大会 (2018 年 6 月 10 日) に向け、最終準備が行われていることが報告された。

3) 事故調査委員会関連

仲井調査委員長から調査報告及び安全対策と事故発生時状況等について、継続して調査を実施していることが報告された。

4) JTU 定款改定の検討報告

JTU 定款における複数代表理事の設置について、検討を行うことが報告された。

5) JTU 経営戦略ワークショップ

JTU 経営戦略ワークショップ (2018 年 3 月 26 日) の開催報告と次回社員総会において、将来の JTU の経営戦略の指針を提示することが報告された。

6) 高校生普及委員会

社員総会において 2017 年度及び 2018 年度予定の高校生関連大会の開催実態調査に基づきプレゼンテーションを実施することが報告された。

7) アンチドーピング委員会

村瀬理事からアンチドーピング啓発活動担当者の地域ブロックからの推薦依頼があった。公募案内については、求める人材像などを明確にした後に、JTU 事務局から各加盟団体、ブロック理事に配信することとなった。なお、該当者は医師に限定せずに広く公募することが補足された。

8) 技術委員会・審判委員会

8-1) 国内SFTO派遣計画

国内ITU関連大会への国際審判派遣メンバーについて、ITUレベル1及びレベル2資格者118人中100人が応募の中から、国内ワールドカップ、アジアカップ、アジアU23選手権への派遣者を確定したことが報告された。

8-2) 海外SFTO及びJTU海外審判派遣事業公募

2018年度JTU海外審判派遣事業の公募要項について6月15日(金)締め切りで公募することが報告された。

8-3) 国際審判統計数

国際トライアスロン連合の発表(2018年5月15日)においてITUレベル1資格取得者の国別数において日本が99名で世界最多の取得数であることが報告された。今後、女性国際審判員の普及をさらに検討していくことが報告された。

8-4) 海外審判活動報告

小金澤技術副委員長からアジアカップスービック大会(フィリピン・2018年4月22日)での派遣活動について報告された。

8-5) WTS横浜大会

標記大会での活動報告があり、エイジグループにおいては、スイムのDNF数が大幅に減少されたことが報告された。

8-6) 第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン) T0推薦

標記大会のT0に花井哲審判委員会委員(神奈川)を推薦することが報告された。

9) 特定非営利活動法人日本ライフセービング協会(JLA)との活動取組

JLAとのパートナーシップ協定(2016年3月)に伴う安全体制構築の状況が報告された。JTU主催共催公認大会において、2018年からIF公認のライフセーバー用ウェアを着用の推進と、JLA関連資格取得者を対象にJTU審判資格「スイム限定審判資格」の設置を検討していくことが報告された。

10) 第1回日本高等学校トライアスロン選手権

全国高等学校トライアスロン選手権大会(仮称)が2018年8月25日・26日に京都府南丹市での開催予定であることが報告された。オリンピック対策チームからは強化の一環として連携を図ることが補足された。

11) 公認障がい者スポーツコーチ養成講習会

2018 年度公認障がい者スポーツコーチ養成講習会（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会・主催）に吉越美佐（JTU パラリンピック対策チーム総務リーダー）を推薦することが報告された。

1 2) JOC ナショナルコーチアカデミー

2018 年度 JOC ナショナルコーチアカデミー（公益財団法人日本オリンピック委員会主催）に浅沼美鈴（JTU オリンピック対策チームコーチ）を推薦することが報告された。

1 3) トライアスロン・パラトライアスロン選手の所属表記

主要通信社からエリート選手の所属表記について、スポンサーが付いている選手はメインスポンサーのみを記載するなど簡潔な表記にするよう要望があることが報告され、あらためて議論を行っていくことが報告された。

1 4) JOC 国際人養成アカデミー

2018 年度 JOC 国際人養成アカデミー（公益財団法人日本オリンピック委員会主催）に笠次良爾（JTU メディカル・アンチドーピング委員長）及び馬場美佳（JTU 情報戦略医科学委員）を推薦することが報告された。

1 5) 国民体育大会関連

15-1) 国体施設基準

国体トライアスロン競技の競技実施における施設基準を明確に定義するために、国民体育大会トライアスロン競技の施設基準の改定の検討を行っていくことが報告された。

15-2) 自治体サポートプログラム

国体及びオリンピックを目指した選手の活躍を支援プログラムの第一弾として、今年の福井国体にあわせ、福井県及び、福井県スポーツ協会が福岡啓選手のサポートを行うことが報告された。本プログラムは三重県等、今後国体実施自治体に提案を行い、浸透をさせていくことが補足された。

15-3) 2019 茨城国体リハーサル大会（2018 年 5 月 27 日・潮来市）

園川理事から大会視察報告があり、2019 年本大会（2019 年 9 月 29 日実施予定）ではメイン会場を 1 km 下流の場所に移動して実施予定であることが報告された。

1 6) オリンピック・パラリンピック競技大会関連

鈴木スポーツマネージャーに変わり大塚専務理事から、大会開催に向けた準備状況が報告された。関根理事（大会アスリート委員）からは前回理事会（3 月 25 日）以降、アスリート委員会の活動、事業の開催がなかったことが報告された。

17) 2018年度主要世界大会への選手団長派遣

標題について説明があり、次の選手団団長を理事から派遣することが報告された。

- ・ ITU 世界マルチスポーツ選手権 (2018/デンマーク・フュン島) *小林理事
- ・ 第18回アジア競技大会 (2018/ジャカルタ・パレンバン) *大塚専務理事又和田理事
- ・ ITU 世界トライアスロンシリーズ GF (2018/オーストラリア・ゴールドコースト)
*岩城会長
- ・ 第3回ユースオリンピック競技大会 (2018/アルゼンチン・ブエノスアイレス)
*宗定理事

18) JTU フォーラム・臨時理事会・社員総会

品川プリンスホテルで行われる2018年JTUトライアスロン・パラトライアスロンフォーラム及び、定時社員総会と臨時理事会の要項が報告された。

- ・ 2018年度臨時理事会：2018年6月19日(火) 9時30分
- ・ 2018年度定時社員総会：2018年6月20日(水) 14時～16時
- ・ 2018年JTUトライアスロン・パラトライアスロンフォーラム：
第1部：2018年6月19日(火) 13時～18時
第2部：2018年6月20日(水) 09時～12時

[6] 次回理事会：

2018年度(平成30年度)臨時理事会：2018年6月19日(火) 9時30分

2018年度(平成30年度)定時社員総会：2018年6月20日(水) 14時～16時(会場：品川プリンスホテル)

[7] 閉会宣言

國分副会長の挨拶の後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ、18時12分に閉会した。

議事録署名人：

(岩城光英・議長・会長・代表理事)	(印)	2018年	月	日
(荻原政吉・監事)	(印)	2018年	月	日
(大塚眞一郎・専務理事)	(印)	2018年	月	日
(園川峰紀・理事)	(印)	2018年	月	日